

薬用植物栽培研究会第6回研究総会

2024 東京

講演プログラム

令和6年11月2日（土）・3日（日）

北里大学薬学部（研究総会，2日）

環境省・国民公園協会 新宿御苑
（エクスカージョン，3日）

主催：薬用植物栽培研究会

プログラム

令和6年11月2日（土）

北里大学白金キャンパス

薬学部2号館1階および2階

10：00～10：15

大会長 あいさつ

伝統のいろとくすりとくさ

○小林 義典（北里大学薬学部附属東洋医学総合研究所長、薬用植物園長、
北里研究所病院漢方鍼灸治療センター薬剤部長）

10：15～10：55

御影雅幸会長を偲んで

御影雅幸先生と薬用植物栽培研究会

○水上 元（名古屋市立大学名誉教授、薬用植物栽培研究会前会長）

御影先生と「疎経活血湯」の思い出

○柴田 敏郎（薬用植物栽培研究会副会長）

“世界の「マオウ属植物」を学際的に調べ尽くす”

○佐々木 陽平（金沢大学医薬保健研究域薬学系）

御影先生が学生に与え続けた「本質」という言葉

○渥美 聡孝（九州医療科学大学 薬学部）

11：05～12：05

特別講演1 座長 小林 義典（北里大学・薬）

人の健康と国の伝統文化を支えた薬用／染料植物『ムラサキ』の来し方

○矢崎 一史（京都大学名誉教授・同生存圏研究所特任教授）

お昼休み（12：05～13：20）

キャンパス周辺の食堂やコンビニをご利用いただけます

総会（13：20～13：35）

13：35～14：35

一般講演＜口頭発表＞ 座長 芝野 真喜雄（大阪医科薬科大学・薬）

01 ドイツにおける薬用植物の品種育成

○五十嵐 元子¹、Fred Eickmeyer²、Wolfram Junghanns³、Frank Marthe⁴
（¹医薬健栄研・薬植セ、²ESKUSA GmbH、³Dr. Junghanns GmbH、⁴Julius Kühn-Institut）

02 肥料に対するトウキ根の生育反応の解明

○橋本 里菜¹、工藤 喜福¹、小幡 年弘²、安藤 広和¹、佐々木 陽平¹
（¹金沢大・薬、²ネブラスカ大学リンカーン校）

03 マオウ属植物の外観形質比較一年次間での比較

○荒木 穰¹・倪 斯然²・菱田 敦之^{1,2}・松嶋 賢一^{1,2}
（¹東京農大院、²東京農大農）

04 タジキスタン由来のマオウ属植物の比較解析

○林 宏明¹、貞方 勇斗¹、中切 諒真¹、Inoyat Fattokhov²、Madibron Saidov²
（¹立命館大・薬、²タジキスタン・森林狩猟庁）

14：45～15：45

一般講演＜ポスター発表＞

薬学部2号館 1階学生食堂特設会場

15：55～16：40

特別講演2 座長 渥美 聡孝（九州医療科学大学・薬）

生薬シコンの基礎薬学研究～TRPA1チャンネルに対する作用と品質評価～

○中森 俊輔（北里大学薬学部）

16：45～17：30

特別講演3 座長 林 茂樹（医薬基盤健栄研・薬用植物資源研究センター）

薬用作物の国内生産拡大の取り組み

○兀下 敏幸（薬用作物産地支援協議会）

(ポスター掲示時間 10:00~15:50)

一般講演<ポスター発表>

示説時間 14:45~15:45

P1 サラシナショウマ *Cimicifuga simplex* の試験栽培 1

○草野 源次郎¹、斎藤 貢¹、村田 清志²、芝野 真喜雄³

(¹蔵王試験圃場、²奥羽大学・薬、³大阪医薬大・薬)

P2 カラスビシャクの栽培研究(その2)育苗箱を利用した栽培法の可能性について

○尾崎 和男、芝野 真喜雄

(大阪医科薬科大学 薬学部)

P3 ウラルカンゾウの竹筒栽培法(2)

○三宅 克典¹、大場 深蒼¹、西村 明駿¹、矢作 忠弘²、野崎 香樹³

(¹東京薬大・薬、²日本大・薬、³武田薬品・京都薬用植物園)

P4 大阪医科薬科大学選抜ウラルカンゾウの高知県における栽培評価

○末岡 昭宣¹、芝野 真喜雄²、岩本 直久¹、川原 信夫¹

(¹牧野植物園、²大阪医科薬科大・薬)

P5 スペインカンゾウ(*Glycyrrhiza glabra* L.)選抜系統のストロン苗による初期増殖のための工夫

○芝野 真喜雄、堀江 翔、峰晴 萌恵、梶山 千穂、尾崎 和男、松田 昂樹

(大阪医薬大・薬)

P6 積雪寒冷地における肥効調節型肥料を用いたトウキのマルチ栽培技術の開発(第2報)

○横井 直人¹、林 茂樹²、五十嵐 元子²、菱田 敦之³

(¹秋田農試、²医薬健栄研・薬植セ、³東京農大・農)

P7 トウキ栽培におけるキアゲハ及びトウキ斑点病に対する薬剤の防除効果

○田村 隆幸¹、東 一彦¹、川部 眞登²

(¹富山県薬総研、²富山県農総セ)

P8 薬用植物での菌根菌共生による生育促進及び菌根菌依存度差異

○水野 尚良¹、松原 陽一²、亀谷 芳明³

(¹岐阜大院・自然科学技術研、²岐阜大・応用生物学、³エーザイ(株))

P9 種子島産インドジャボク種子の発芽調査(2) —種子収穫適期の検討—

○安食 菜穂子¹、林 茂樹¹、米田 行徳²、吉松 嘉代¹、河野 徳昭¹

(¹医薬健栄研・薬植セ、²米田薬品)

MP1 北海道北部地域の林内における土壌水分環境が栽培1年目ムラサキの生育へ及ぼす影響

○林 茂樹¹、栃本 久美子²、山本 豊²、河野 徳昭¹

(¹医薬健栄研・薬植セ、²(株) 栃本天海堂)

MP2 青森県十和田市におけるムラサキの栽培

○馬場 光久¹、中野 沙貴¹、寺島 陸¹、橋本 亮¹、光實 健洋¹、
画星 春香²、辻村 実希²、石川 寛²、古平 栄一²

(¹北里大・獣医、²北里大・薬)

MP3 ムラサキの効率的苗生産に向けた発芽処理方法の検討

○安藤 匡哉¹、渥美 聡孝²、野崎 香樹¹

(¹武田薬品・京都薬用植物園、²九州医療科学大・薬)

MP4 宮崎県延岡市におけるムラサキのハウス栽培とシコン生産の現状

○渥美 聡孝¹、安藤 匡哉²、野崎 香樹¹

(¹九州医療科学大・薬、²武田薬品 京都薬用植物園)

懇親会 (18:00~19:30)

北里大学白金キャンパス 薬学部2号館1階 学生食堂

令和6年11月3日（日） エクスカーション

エクスカーション（現地集合）

環境省・一般財団法人国民公園協会 新宿御苑

〒160-0014 東京都新宿区内藤町 11 番地

アクセス：<https://fng.or.jp/shinjuku/access/>

9：30 新宿御苑 新宿門集合

団体で入園し、新宿御苑管理事務所まで移動してから手荷物等を預かっていただき、複数班に分かれて3時間のご案内をいただきます（9:30～12:30）

（見学内容）

絶滅危惧種や原種ランコレクションを中心としたバックヤードツアー

菊花壇展ツアー

12：00 解散予定